

第31回 日本学校教育相談学会 九州・沖縄地区研修会「北九州市大会」

< 第二次案内 >

大会テーマ「多様化する子どもの安心・安全を支える学校教育相談」

1 目 的 日本学校教育相談学会会員の相互研修と情報交換を行い、会員の資質の向上を図る。
各支部の研修活動の充実に資するものとし、学校教育相談の普及・発展に寄与する。

2 主 催 日本学校教育相談学会 北九州市支部

3 後 援 北九州市教育委員会 福岡市教育委員会 福岡県教育委員会 福岡県教育公務員弘済会

4 期 日 令和7年11月15日（土）

5 会 場 小倉リーセントホテル 福岡県北九州市小倉北区大門 1丁目1番地17号
Tel 093-581-5673

6 日 程

11:00～ 12:00～ 13:00 13:15～15:15 15:20～17:20 17:30～19:30

理事長会	受付	開会行事	共通講義	移動	分科会 (各分科会会場)	準備	懇談会 (情報交換会)
------	----	------	------	----	-----------------	----	----------------

【共通講義】 「学校危機への包括的心理支援」

窪田 由紀 先生 九州産業大学元教授 臨床心理士・公認心理師
北九州市スクールカウンセラー 東京大学教育学研究員

【分科会】	A分科会	「他者の感情理解や自分の感情をコントロールする能力の育て方」 ～社会性と情動の学習（SEL）を通して～ 山田 洋平 先生（福岡教育大学大学院教育学研究科 准教授）
	B分科会	「多様化する子どもへのスクールカウンセリング」 中島 良 先生 （臨床心理士・公認心理師 北九州市スクールカウンセラー）
	C分科会	「子どもの不安への支援を考える」 河村 暁 先生 （福岡教育大学大学院教育学研究科 准教授）
	D分科会	「学校における性暴力被害の対応について」 浦 尚子 先生 （福岡犯罪被害者支援センター 理事長）

共通講義 (玄海の間)

「学校危機への包括的心理支援」 窪田 由紀 先生

九州産業大学元教授 臨床心理士・公認心理師 北九州市スクールカウンセラー 東京大学教育学研究員

わが国においては、突発的で衝撃的な災害、事件・事故などへの遭遇によって生じる学校危機への心理支援は、1995年の阪神淡路大震災以後、注目されるようになりました。今日では、教育行政や地域の心理機能団体との連携の下に学校を支援する体制が整ってきています。本講義では、リスクの早期発見や種々の予防教育を通しての危機の発生予防、危機発生に備えての体制整備や研修による準備、危機発生後の初期対応、中長期的な支援とそれまでの取り組みの評価検証といったフォローアップの4段階からなる危機支援の包括モデルを紹介し、危機発生時にとどまらず、平常時からの危機対応について考える機会にしたいと思っています。

A 分科会 (福智の間)

「他者の感情理解や自分の感情をコントロールする能力の育て方」 ～社会性と情動の学習(SEL)を通して～

山田 洋平 先生 福岡教育大学大学院教育学研究科 教職実践研究ユニット 准教授

子どもを取り巻く環境の変化によって、子どもの社会性の未熟さが指摘されています。そんな中で、改訂された生徒指導提要（文部科学省、2022）では、社会性の発達を支援するプログラムの1つとして、社会性と情動の学習（SEL：ソーシャル・エモーショナル・ラーニング）が紹介されました。分科会では、予防・開発的な取り組みにおける社会性と情動の学習の必要性とともに、実際の活動内容やその効果について紹介していきます。特に、他者の感情理解や自分の感情のコントロールを育成する方法については、体験的な演習を含めて説明する予定です。

B 分科会 (帆柱の間)

「多様化する子どもへのスクールカウンセリング」

中島 良 先生 臨床心理士・公認心理師 北九州市スクールカウンセラー

現代の教育現場における多様な課題に対応するために、学校は児童生徒への心理支援として何ができるのでしょうか。そもそも、「多様」とは何を指し、以前とどのように変化したのでしょうか。昨今、子どもたちの生徒指導上の課題は“多様化”していると叫ばれますが、そのように言われ始めてからもう長い時間が過ぎているようにも思えます。チーム学校の一員である心の専門家として学校の生徒指導・教育相談の一端を担っている経験をもとに、子どもたちや教師を取り巻く環境を、スクールカウンセリングの立場から整理し、学校の教育相談とその体制のあり方について、皆様と一緒に考えたいと思います。

C 分科会 (玄海の間)

「子どもの不安への支援を考える」

河村 暁 先生 福岡教育大学大学院教育学研究科 教職実践研究ユニット 准教授

不安は目に見えないため理解されにくい脳の機能です。どのような不安の種類があるのか、どのような支援があるのか、あまり知られていません。不登校の子どもに対して、不安の尺度に取り組んでもらったところ、予想以上に高い得点となり驚くことがあります。また外見上は不安が低そうな子どもでも高いことがあります。本研修では不安をどのように理解すればよいか、不安を分類、可視化するやり方について、また支援について事例を紹介し、子どもの不安への支援のあり方を考えていきます。

D 分科会 (小倉の間)

「学校における性暴力被害の対応について」

浦 尚子 先生 福岡犯罪被害者支援センター 理事長

性暴力は、被害者本人だけでなく、子どもの友だち、保護者、教職員など周りの人も巻き込み深刻な影響を与えます。加えて、性暴力への対応は非常に難しいことが多く、性暴力の影響が拡大・長期化してしまうことも少なくありません。性暴力を身近な問題ととらえ性暴力が起こった時の対応や留意点を知り、再トラウマ化や二次加害を防ぐことで、性暴力の影響を最小限にとどめることが学校現場に求められています。子どもの性暴力に対して、学校ができることを一緒に考えたいと思います。

8 参加費 参加費は当日受付にて徴収いたします。

○会員:2,000円 ○学生:1,000円 ○非会員:3,000円 ○懇親会:7,000円

9 申込み QRコードからお申し込みください。

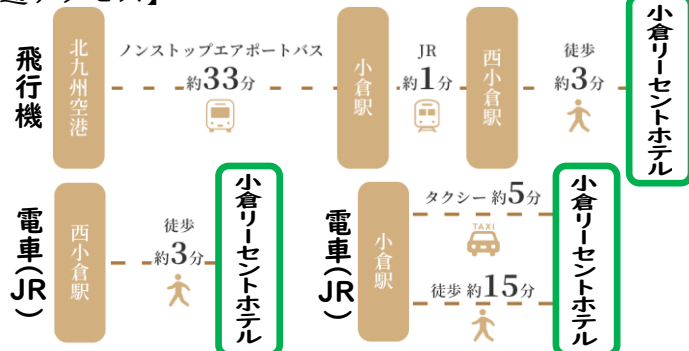


<https://forms.office.com/r/v74UETJnI7?origin=IprLink>

【お問合せ】

日本学校教育相談学会北九州市支部
事務局 島津 弘子
kyoso.kitakyushu@gmail.com

【交通アクセス】



【ご連絡】

- 研修会参加費は、当日受付にてお支払いください。
- 宿泊に関しましては、各自でご手配いただきますようお願いいたします。